

GPM:一般購買管理システム

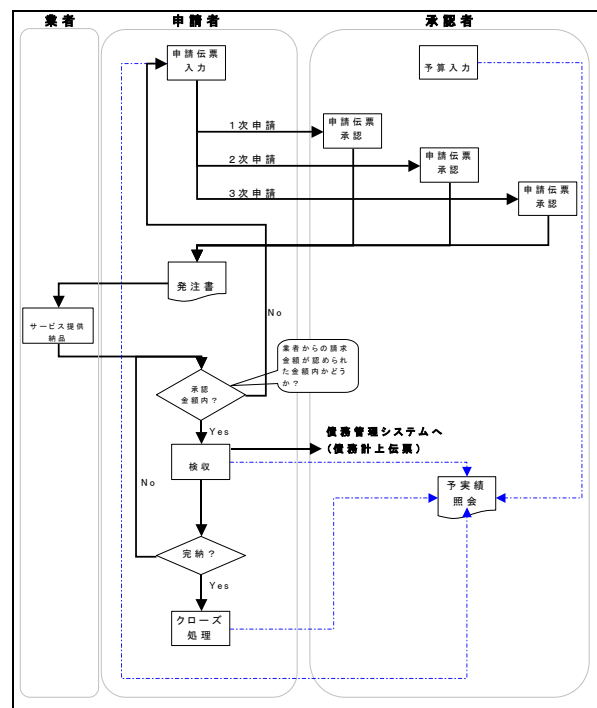
- 経費計上されるサービスもしくは一般購買物品に関する、購買申請、承認、発注、検収、支払依頼、予算管理を担当するモジュールです。
- 広告宣伝発注、印刷物発注、コンピュータ購入など、予算管理や申請・承認ワークフロープロセスの確立が必要なサービス・物品の購買に最適なシステムです。
- 営業担当者、購買業務担当者、承認権限者が利用し、経理に対して支払依頼する運用を想定しています。
- 支払依頼データは APS 債務管理システムに流れますので、債務管理システムのフロントシステムとも言えます。
- 一般経費取引にも内部統制の強化が必要な企業、外貨取引が発生する企業にピッタリなモジュールです。
- 例えば、一般物品の購入について、下記のような意見がある場合には、本モジュールの採用をご検討下さい。
 - ① 稟議書の作成に手間が掛かりすぎ
 - ② 見積書に手書き承認しているが、二度提出すると承認者が二重に承認してしまう
 - ③ 申請者側も、この案件は承認を貰ったのか、発注していいのか、管理が大変
 - ④ 後から予算オーバーと言われるので、月次試算表を貰って、発注情報をエクセルで加算しながらチェックしているが、これでは手間が掛かりすぎ
 - ⑤ 分納が多く、注文書とのチェックが大変
 - ⑥ 見積時点では相見積もりなどを取り、単価を相当チェックしているが、発注、納品を経て数ヶ月後に請求書が来ても数量はとにかく単価まで正直チェックしてられない
 - ⑦ 業者から二重請求されても、現状は個人の注意に頼っており、本当にチェックするのは無理
 - ⑧ 自社販売、取扱商品の購買プロセスはよいのだが、それ以外はお粗末すぎ、もう少しきちんと欲しい
- バイリンガルですので、外国人が上司にいるなどの外資系企業では、EPS 経費精算システムとともに是非ご利用いただきたいモジュールです。
- 当然、Plaza-i 一般会計、債務管理を採用している場合も、是非ご利用下さい。統一的なインターフェースやセットアップ、ユーザ ID も含めた既存マスターをそのまま利用できること、債務・会計と

の密接な連動によりストレスのないスムーズな導入をお約束いたします。

主なメニュー

- 申請承認状況照会(ポータル画面)
- 一般購買申請入力、照会
- 発注書印刷
- 一般購買検収実績照会
- 一般購買予算実績照会
- 予算年度マスター
- 組織品目予算入力
- 一般購買品目マスター

業務フローイメージ



購買申請入力

- 購買申請書を購買申請者が入力します。
- 明細は注文書に表示される業務上の品目です。その後ろに、会計上の計上勘定科目や消費税属性が紐付いていますので、業務担当者でも簡単に入力することが出来ます。
- 納品先を指定することも可能です。

ワークフロー対応の承認プロセス

- 例えば、100万円未満の取引であれば部長のみ

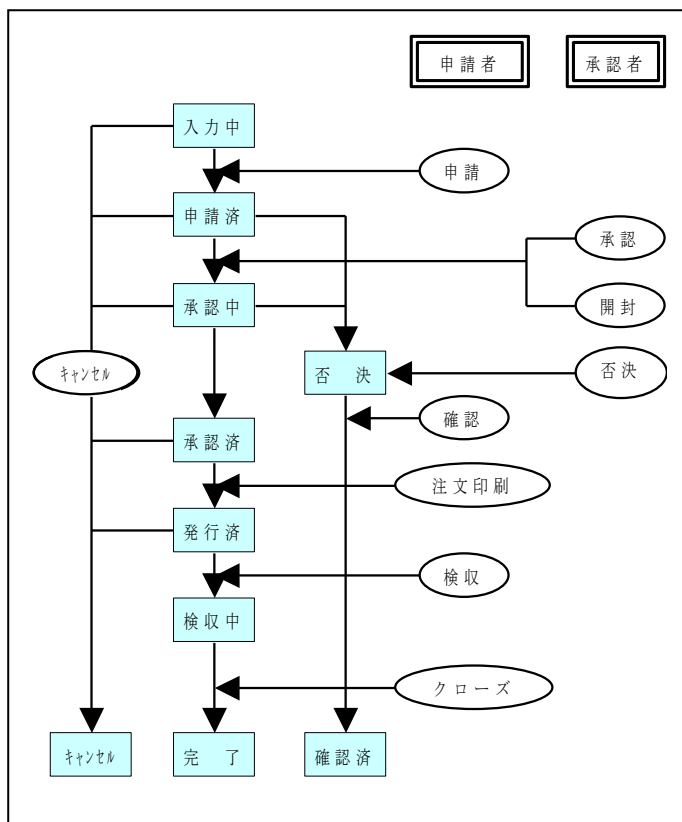
の承認でよいが、100 万以上の取引の場合は社長と部長の承認が必要になるというようなルールを承認マスターに登録することが出来ます。

- 申請者は申請金額に基づき Plaza-i が要求した権限レベルの承認者を必要人数、選択または自動決定して承認(回覧)ルートを決めます。
- 自分より前(下位)のレベルの承認者が承認していない取引については承認画面に表示させないよう設定することができます。

承認された申請のみ注文書出力可能

- 承認者が全員承認すると、申請書のステータスが承認済となります。
- 申請書データがそのまま注文書となるので、注文書を再入力する必要はありません。
- さらに、承認済ステータスでないと注文書を出力できないようコントロールを掛けています。

申請書ステータス遷移



- システムを立ち上げると、自分が申請・入力した伝票だけが表示されるポータル画面が開きます。
- 以前に申請した申請書がどのような状況になっているか、確認できますので、注文印刷、検取等の次のステップにタイムリーに進むことが可能です。
- 承認者もポータル画面に自分が承認すべき申請書が表示されますので、タイムリーに承認を実行することが可能です。
- つまり複数の申請者、複数の承認者が本システムを利用し、必要な情報を入力、承認していけば、購買申請書、検取書、支払依頼書などの内部書

類が不要となり、完全にペーパーレス業務処理が実現する理想的なシステムです。ペーパーは業者に発行する注文書と業者から経理に到着する請求書だけになります。

分納対応した検取入力

- 一度に納品されなくても、納品の都度検取入力することが出来ます。
- 注文金額以上に検取出来るかどうか、その場合、いくらまで増額を認めるかマスター設定することが出来ます。
- これにより、正当な権限者により承認(発注)された品物(物品並びにサービス)だけを受け取るというコントロール目標を実現することが出来ます。

検取データは経理で請求データとチェック

- 経理に届いた業者・仕入先からの請求書と、検取入力により債務管理システムに転送された支払依頼データを比較し、経理は、検取確認され、かつ、請求された品物だけを債務計上するというコントロール目標を実現することが出来ます。
- APS 債務管理システムで債務計上した支払依頼データは、一般会計に自動仕訳され、支払準備、支払確定プロセスに流れていきます。
- つまり、本システムは APS 債務管理システム、GLS 一般会計システムと連動し、一般購買業務フローを最適化します。

代理申請、代理承認に対応しています

- 一般購買申請伝票の申請者かもしくは作成者のどちらかであればその伝票を操作することが出来ます。例えば、自分のアシスタントに申請者を自分として入力してもらうことにより、代理申請が可能です。
- また通常の承認者が出張中の場合等は、同一レベルの権限者であれば、在席中の承認者に承認を求めることも可能です。また、申請後に不在となった場合にも、承認者変更に対応しています。

種別	種別名	品目	品目名	予算計上金額	入力済	申請済	承認済	検取済	予算残
2010	汎用受発注	A10	広告代理店料	880,000	0	0	0	654,250	225,750
2010	汎用受発注	A20	メディア広告費	4,400,000	0	0	0	500,000	3,900,000
2010	汎用受発注	A21	メディア広告費	2,640,000	0	0	0	0	2,640,000
2010	汎用受発注	A22	メディア広告費	1,780,000	0	0	1,250,000	0	530,000
2010	汎用受発注	A29	メディア広告費	2,200,000	0	0	0	0	2,200,000
2010	汎用受発注	P10	広告印刷物(外)	2,640,000	0	0	300,000	200,000	2,140,000
2010	汎用受発注	P20	印刷物(一式外)	704,000	0	0	0	0	704,000
2010	汎用受発注	P21	印刷物(一式内)	616,000	0	95,238	0	0	520,762
				15,840,000	0	95,238	1,550,000	2,604,250	11,590,512

組織・品目別に予算消化状況をチェック

- 予算を組織・品目別に登録するため、予実績比較を組織・品目別、品目・組織別、組織別、品目別など様々な視点から行うことが出来ます。
- 実績と対比は、会計データではなく、申請データを利用しますので、検取の段階に入らなくても、入力済、申請済、承認済の段階から予算の消化

状況をリアルタイムで確認することが出来ます。